学校番号	123

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第１学年	VISTA English Communication Ⅰ New Edition（三省堂） 「VISTA English Communication Ⅰ New Edition WORK BOOK（三省堂）」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、テキストで学んだことを、話したり書いたりする言語活動を行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
・英語の語彙や文法については、基本をしっかり身につけることが大切です。あきらめずに粘り強く取組みましょう。
・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。習った文章を何度も音読して身につけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・母国語話者にも理解してもらえるように英単語を適切に発音することができる。	コミュ英Ⅰ 発音テスト	・基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文（1 文）を書くことができる。	コミュ英Ⅰ ライティングテスト 定期考査	・ゆっくりと発話される短い簡単な指示や英文の内容を理解することができる。	コミュ英Ⅰ リスニングテスト 定期考査	・挿絵や写真のある簡単な１～３文程度の情景描写を理解でき、バースデイカードなどのメッセージの内容をよみとることができる。	コミュ英Ⅰ リーディングテスト 音読テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Get Ready! （３時間） ののちゃんの英文法 （１時間）	・身近な日常生活の中にある英語の単語を書き、発音を確認する。 ・辞書の使い方と役に立つ用語について学ぶ。 ・授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学ぶ。 ・文の構造を知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		アルファベットを使って単語を正確に書くことができる。	英語の単語を書き、発音を確認する。	単語を書く活動に積極的に取組んでいる。	教科書の練習問題やワークブックを活用する。
		「外国語表現の能力」			
		単語を見て正確に発音できる。	英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。	アルファベットの大文字・小文字の違いを理解している。	基本的な英語の音声に慣れようとしているか観察する。
		「外国語理解の能力」			
		発音された単語を正確に聞き取ることができる。	授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を理解し、実際に使ってみる。	言語活動において、学んだ表現を積極的に使っている。	教科書の練習問題やワークブックを活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		文の構造を理解している。	文の構造を知る。	場面や目的に応じて適切に表現することができる。	教科書の練習問題やワークブックを活用する。
Lesson 1 （７時間） Kerama Blue	慶良間の海を守るサンゴ礁の役割と、海とそのサンゴ礁を守る島民の努力について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・基本的な英語の音声に慣れる。	・be 動詞、基本的な一般動詞の現在形を使った文の音声になれる。	・基本的な英語の音声に慣れ、学んだ表現を積極的に発話しようとしている。	・基本的な英語の音声に慣れようとしているか観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・be 動詞、基本的な一般動詞の現在形の文を理解し、発話ができる。	・be 動詞、基本的な一般動詞の現在形の文になれる。	・be 動詞、基本的な一般動詞の現在形を使って正確な文で話すことができる。	・教科書の練習問題やワークブックを活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・肯定文と否定文を聞き分けることができる	・SV、SVC、 SVO の文型の文の内容を正しく聞き取ることができるよう学ぶ。	・聞いた内容について大切な部分を理解することができる。	・教科書の練習問題を活用する。 ・定期考査のリスニングテストでも判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・慶良間の海の「ケラマブルー」がどのようにして保たれているかを読み取ることができる。	・慶良間の海を守るサンゴ礁の役割と、海とそのさんご礁を守る島民の努力について考える。	・多様な生物が生息するサンゴ礁の役割について理解している。	・ワークブックの問題を活用して判断する。 ・定期考査も活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (7時間) Cool Japan	日本の魅力を、外からの視点を通して知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞いた内容について、大切な部分を適切に聞き取ることができる。	・Yes / No 疑問文と疑問詞を用いた疑問文を含む本文を理解する。	・話の要点（誰が何をする）に注意して正確に聞こうとする。	・ワークブックの問題を活用して判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・対話の内容を正しく理解して音読することができる。	・日本の魅力を、外からの視点を通して読み取る。	・対話の内容を理解して音読することができる。	・教科書の Q&A を活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・対話に書かれた内容について正しく読み取ることができる。	・対話に書かれた人物の考えや意見を正しく読み取る。	・書かれた内容について正しく読み取ることができる。	・ワークブックの問題を活用して判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ Yes / No 疑問文と疑問詞を用いた疑問文を理解する。	・ Yes / No 疑問文と疑問詞を用いた疑問文を理解し、答え方の違いも理解する。	・いろいろな疑問文の形と意味を理解している。	・教科書の練習問題を活用する。 ・定期考査も活用する。
Lesson 3 (7時間) Mexican Dishes	世界無形文化遺産であるメキシコ料理と、その特色ある食文化について知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・話の要点に注意して正確に聞き、話そうとする。	・過去形の動詞や助動詞(can、will)を用いた文を正しく聞き取ろうとする。	・話の要点に注意して正確に聞き、話そうとする。	・話の要点に注意して正確に聞き、話そうとしているか観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・過去形や助動詞を用いて応答することができる。	・伝えたい内容や相手によって、過去形の動詞や助動詞(can、will)を用いての応答を学ぶ。	・過去形や助動詞を用いて適切に応答することができる。	・質問に対して、過去形や助動詞を用いて適切に応答することができるか、観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・過去形の動詞や助動詞を用いた文の内容を正しく聞き取ることができる。	・過去形の動詞や助動詞(can、will)を用いた文の内容を正しく聞き取れるよう練習する。	・過去形の動詞や助動詞を用いた文の内容を正しく聞き取ることができる。	・リスニングテストを活用して判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・食文化はどのようにして形づくられるものなのかを理解する。	・メキシコの食文化を理解し、また日本の食文化についても考える。	・日本も含め、食文化はどのようにして形づくられるものなのかを理解している。	・ワークブックを活用し、判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (8時間) The Olympics	近代オリンピックの発祥と理念、過去の競技、またパラリンピックについて知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・学んだ文法事項に注意して英語を聞き取る。	・過去形や SVOO、SVOC の文型を使った文を聞き取る。	・学んだ文法事項に注意して英語を聞こうと努力している。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・過去形、〈S + V + that 節〉の構文を書くことができる。	・過去形、〈S + V + that 節〉の構文を用いて自分の伝えたい内容を英文にする。	・過去形、〈S + V + that 節〉の構文を正確に書くことができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・過去のことに関して書かれた内容を正しく読み取ることができる。	・近代オリンピックの歴史について、書かれた文を読み、内容を正しく読み取る。	・近代オリンピックの歴史について、書かれた内容を正しく読み取ることができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日本語と異なる英語の語順について理解する。	・SVOO、SVOC の文型や〈S + V + that 節〉の構文を使った文の語順を正しく理解する。	・英語では正確な意味を理解したり、表現したりするのに語順が重要であることを知っている。	・教科書の練習問題を活用し判断する。 ・ワークブッを活用する。
Lesson 5 (7時間) Baobabs in Madagascar	バオバブが直面している問題を知り、どうしたら保護できるかを考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・話の要点に注意し積極的に聞く。	・写真や前もって聞いた内容について大切なポイントを聞き取る。	・写真や英語の説明などを参考に、話の要点に注意して積極的に聞こうとしている。	・リスニングテストを活用して判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・筆者の気持ちを理解して音読することができる。	・筆者の気持ちを理解して、正しいイントネーションで正確に音読する。	・筆者の気持ちを理解して音読することができる。	・音読テストを活用して判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・聞いた内容について大切なポイントを聞き取ることができる。	・セクションごとのまとまった英文を聞いて、その要点を聞き取る。	・聞いた内容について大切なポイントを聞き取ることができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。 ・ワークブックも活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・本文を読んでそこに書かれている大切な情報を読み取ることができる。	・『星の王子さま』にも描かれたバオバブの木を知る。 ・バオバブが、直面している問題を知る。	・バオバブが、今直面している問題を認識している。	・教科書の練習問題を活用し判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (7時間) Tooth brushing in Edo	江戸時代の生活習慣（歯磨き）について知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・動名詞を用いた表現を積極的に活用しようとしている。	・動名詞についての文法的知識を深め、正しく用いて、使うことができるようになる。	・動名詞に注意して、学んだ表現を積極的に活用しようとしている。	・動名詞を用いて、積極的に表現しようとしているか観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・動名詞を用いて話すことができる。	・動名詞についての文法的知識を深め、正しく用いて話すことができるようになる。	・動名詞を正しく用いて話すことができる。	・スピーキングテストを活用し判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・プレゼンテーション形式英文を読みその内容を正しく読みとることができる。	・プレゼンテーション形式英文を読み、「楊枝」について書かれた内容を正しく読みとることができる。	・プレゼンテーションの内容を正しく理解できる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。 ・ワークブックも活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・「楊枝」について書かれた内容について、読み取ることができる。	・楊枝はインドで始まり、日本文化の中で発達したものであることを知っている。	・「楊枝」について書かれた情報について、ポイントを読み取ることができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
Lesson 7 (8時間) Machu Picchu	世界遺産であるマチュ・ピチュとその文化、また複合遺産に指定されている理由について知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英語の基本的な音声の特徴に積極的に慣れようとしている。	・英語の発音、イントネーションなど基本的な音声の特徴に注意して、正確に読む。	・英語の基本的な音声の特徴に積極的に慣れている。	・リスニングテストを活用して判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・現在完了形を正確に筆記することができる。	・現在完了形を用いた文の内容を正しく理解し、自分の意向を表現する。	・現在完了形を用いた分を正確に筆記することができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・マチュ・ピチュについて、書かれた内容を正しく読み取ることができる。	・マチュ・ピチュについての対話を読み、書かれた内容を正しく読み取る。	・マチュ・ピチュの謎と魅力がどこにあるのかを読み取ることができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了形の表す意味と文法的な働きを理解している。	・現在完了形の表す「継続」の意味を理解し、文法的な働きを理解する。	・現在完了形の表す意味と文法的な働きを理解することができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (8時間) Motala and Landmines	人間のおこなっていることのどのような面をモタラの話が象徴しているかを考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・話の要点に注意して正確に聞こうとしている。	・受身の文を含む、まとまった英文を聞き、話の要点を聞き取る。	・話の要点を正確に聞こうとしている。	・リスニングテストを活用して判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・受け身を用いて、聞かれたことに対して適切に応答することができる。	・受け身を用いて、聞かれたことに対して、内容を理解し、適切に応答することができる。	・受け身の文を用いて、受け答えができる。	・質問に対して、受身を用いて適切に応答することができるか、観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・ゾウのモタラについて書かれた情報について、大切な部分を読み取ることができる。	・地雷によって傷を負ったゾウのモタラについて読む。	・受け身の文で書かれた内容について、正しく読み取ることができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・人間の行いのどのような面をモタラの話が象徴しているかを理解している。	・地雷によって傷を負ったゾウのモタラの話を読み、人間の行動について考える。	・地雷による被害を理解し、人間のとるべき行動について考える。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
Lesson 9 (87時間) Dick Bruna	「ミッフィー」でおなじみのディック・ブルーナの社会的役割を知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞きなれない固有名詞など、理解できないことがあっても、推測するなどして聞き続けようとしている。	・「ミッフィー」の作者であるディック・ブルーナについて本文を聞き理解する。	・理解できないことがあっても、推測するなどして聞き続けようとしている。	・リスニングテストを活用して判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係代名詞を用いた文を正確に書くことができる。	・関係代名詞(who、which、that)を用いた文を正確に書く。	・伝えたい内容を関係代名詞を用いて書くことができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・関係代名詞を用いた文を正しく読み取ることができる。	・関係代名詞(who、which、that)を用いた文を読み、その内容を正しく理解する。	・関係代名詞を用いた文を正しく読み取ることができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・名詞を修飾する方法として、形容詞とならんで、関係代名詞があることを理解する。	・日本語と異なり、名詞を後ろから修飾する方法として、関係代名詞があることを理解する。	・名詞を修飾する方法として、形容詞とならんで、関係代名詞があることを理解している。	・教科書の練習問題を活用し判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 (8時間) Tsujii, the Great Pianist	辻井伸行さんのインタビューを通して、偉業を達成するためには何が大切かを考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・複数形の-s の発音に注意しながら発話しようとしている。	・複数形の-s の発音には[s][z][iz]があることを理解し、そのことに留意しながら発話する。	・複数形の-s の発音の違いに注意しながら発話できる。	・音読テストを活用して判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・理由を述べる文を正確に書くことができる。	・自分の考えなどについて、理由を述べて説明する文を書く。	・理由を述べる文を正確に書くことができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・インタビューを聞き、その話し手の意向を理解することできる。	・辻井伸行さんのインタビューを聞き、その内容について話し手の意向を理解することできる。	・インタビューを聞き、話し手が、偉業を達成するために何が大切と考えているか理解する。	・教科書の練習問題を活用し判断する。 ・ワークブックも活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係副詞や形式主語などを含む文を理解する。	・関係副詞や形式主語など、一文の中に意味上異なった文を加える文法的な働きを理解する。	・関係副詞や形式主語などを含む文の意味を正確に理解する。	・教科書の練習問題を活用し判断する。 ・ワークブックも活用する。
Lesson 11 (8時間) Ideas from Nature	自然界からヒントを得て作られたものが私たちの暮らしを便利にしていることを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、自分の考えを述べたり書いたりしようとする。	・分詞構文を利用して、読み手や聞き手の注意を引く表現ができるようにする。	・間違うことを恐れず、自分の考えを述べたり書いたりできる。	・習った文法事項を用いて、自分の考えを述べたり書いたりしようとしているか、観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・情報を正確に理解してもらえるように、音読することができる。	・自然界の形が人間生活に役立っていることを理解し、その内容を人に伝わるよう音読する。	・情報を正確に理解してもらえるように、正しく理解した上で音読できる。	・音読テストを活用して判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・分詞構文の文法的働きと意味を理解する。	・分詞構文を含む文を読み、自然界の形が人間生活に役立っていることを理解する。	・分詞構文の文法的働きとその文の意味を理解できる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・人間の文化は、自然から多くの恩恵を受けていることを理解する。	・自然からのアイデアが生活に役立つとについて、書かれた内容を読み取る。	・人間の文化は、自然から多くの恩恵を受けていることを理解できる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 12 (8時間) Steve Jobs	スティーブ・ジョブズのことばや生き方から読み取れるメッセージについて考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・仮定法過去を使って、自分の考えなどを伝える。	・仮定法過去の文法を学び、それに従って自分の考えなどを人に伝える。	・仮定法過去の文法的働きとその文の意味を理解できる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・伝えたい内容を適切な英文で書くことができる。	・仮定法過去の文法を学びそれを使った文を正確に書くことができる。	・仮定法過去を使った文を正確に書くことができる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・テーマを持った話を聞いて、内容を聞き取ることができる。	・スティーブ・ジョブズのことばを聞き彼のメッセージを理解する。	・スティーブ・ジョブズの語ったことばを聞き、中心となるメッセージを聞き取ることができる。	・リスニングテストを活用して判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		仮定法過去の文法的役割と意味を知る。	・スティーブ・ジョブズについてのブログを読み、仮定法過去の文の意味を正確に理解する。	・スティーブ・ジョブズのメッセージについて理解している。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
Enjoy Reading The Little Prince (10時間)	名作『星の王子さま』を鑑賞する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・理解できない部分があっても、学習した語句や表現を思い出したり、推測したりするなどして読み続けようとしている。	・名作『星の王子さま』をできる限り、日本語に訳さず、英語のまま鑑賞する。	・名作『星の王子さま』を楽しく鑑賞しているか。	・名作『星の王子さま』を楽しく鑑賞しているかを観察する
		「外国語表現の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)
		「外国語理解の能力」			
		・物語を読んで書かれた内容について、正しく読み取る。	・『星の王子さま』をできる限り英語のまま鑑賞する。理解できない部分があっても文脈から理解する。	・物語を読んでストーリーを読み取れる。	・教科書の練習問題を活用し判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)